

令和6年11月28日

「第9回JET地域国際化塾」の開催

総務省は、福島県との共催により、下記のとおり「第9回JET地域国際化塾」を開催します。

1 背景・目的

本事業は、JETプログラム（※）において招致した外国青年が、福島県内で活躍する地域おこし協力隊等の地域づくり関係者と車座（意見交換）を実施し、地域づくりの優良事例を学ぶとともに、視察や体験を通じて地域活動への理解や関心を深めることで、地域の国際化に資する取組への参画を促すものです。

また、地域づくり関係者においても、JET青年から得られた新たな視点を踏まえ、更なる地域活性化に資する取組を推進することを目的としています。

※JETプログラム：外国青年を招致して地方公共団体等で任用し、外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る、世界最大規模の人的交流プログラム。昭和62年以降、累計で80か国から約7万9千人を招致している。

- 2 日程及び場所 日程 令和6年12月4日（水）～12月6日（金）
場所 福島県（双葉町、楡葉町、南相馬市、浪江町、飯舘村、いわき市、郡山市）
- 3 参加者 JETプログラムに参加している外国青年
地方自治体・地域づくり関係者 計80名
- 4 主催 総務省・福島県

〈参考：過去の開催実績〉

第1回（石川県 平成27年10月）、第2回（茨城県 平成29年10月）、
第3回（青森県 平成30年11月）、第4回（宮崎県 令和元年10月）、
第5回（鳥取県 令和2年12月）、第6回（兵庫県 令和3年10月）
第7回（福井県 令和4年10月）、第8回（山梨県 令和5年11月）

〈添付資料〉第9回JET地域国際化塾（福島県）の開催

（参考）第8回JET地域国際化塾（山梨県）の実施概要（R5.11月実施）

連絡先

自治行政局国際室 担当：^{たがしら}田頭参事官補佐、^{くわた}桑田主査、大井事務官
電話：03-5253-5527（直通） E-mail：kokusai-atmark-soumu.go.jp
※スパムメール対策のため、「@」を「-atmark-」と表示しております。
送信の際には、「@」に変更してください。

第9回 JET地域国際化塾について（開催県：福島県）

開催概要

- 日程：令和6年（2024年）12月4日（水）～12月6日（金）
- 参加者：JETプログラムに参加している外国青年（約70名）と
地方自治体・地域づくり関係者 計80名
- 主催：総務省・福島県
- テーマ：東日本大震災の復興から学ぶ地域づくり

実施内容

● 1日目 地域づくり関係者による基調講演・意見交換

基調講演：一般社団法人NoMAラボ 代表理事 高橋 大就 氏
テーマ: Why Fukushima coastal area is the most exciting now? (なぜ今、福島県浜通り地域が一番熱いのか。)

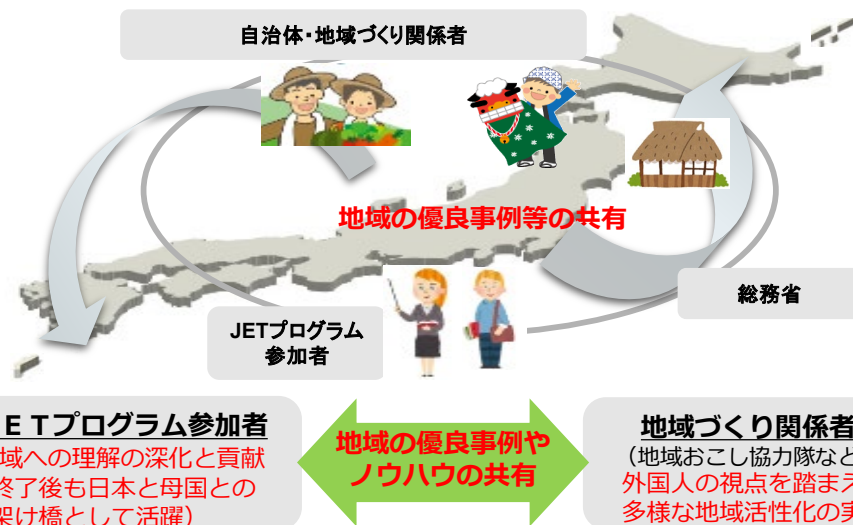
● 2日目 地域おこし協力隊等の地域づくり関係者が活動する地域での現地視察・意見交換

○主な視察先（いわきエリア、相双エリアの2つのグループで、地域おこし協力隊経験者等が活動する地域活性化の現場を体感）

- ・ はっこうば haccoba：地域おこし協力隊経験者が無人駅内にオープンした醸造所や地域との交流エリアを視察し、
酒造りの担い手の育成や、地域の活性化、地域との交流について意見交換
- ・ ホースバリュー：地域おこし協力隊経験者が活躍する馬の魅力を活用した地域振興について意見交換
- ・ いわきたかはし 磐城高箸：廃校になった校舎を活用し、地元木材を使用した箸や鉛筆の木材加工の製造現場から、
東日本大震災後の地域の活性化の取組について意見交換
- ・ とうのわし 遠野和紙：いわき市の伝統工芸である遠野和紙の製紙技術を未来に継承するための活動に取り組む
地域おこし協力隊経験者等との意見交換

● 3日目 JET青年によるグループワーク・発表

○ 福島県で活動する地域おこし協力隊経験者等の東日本大震災からの復興に関わる地域の活性化の取組を学んだ上で、地域の課題解決や魅力向上のために、自分たちがどのように地域に関わることができるかをテーマに、グループで意見交換・発表を実施。



現地視察・意見交換のイメージ
遠野和紙の技術を学ぶJET青年(福島県広報(2020年10月号))

(参考) 第8回 JET地域国際化塾(山梨県) 実施概要(R5.11月実施)

山梨県でのJET地域国際化塾の概要

<1日目: 山梨県における地域活動に関する事例発表>

- 地域活動の魅力、地域活動への参加の意義や貢献について、山梨県内における取組、地域づくり関係者から事例発表、意見交換を行い、JET青年の地域活動に対する関心を喚起。

成澤 治子氏(甲府市移住戦略広報官)

「何もない、できないを ある、できるへ変える仕事」をテーマに、新たな価値を創出する 取り組みについて、甲府市の移住戦略も織り交ぜながら講演

デビッド・エリス氏(インバウンド・ツーリズム専門家)

インバウンドの需要喚起をテーマに、山梨県魅力をどのようにして海外の潜在的な需要にアプローチしてきたかなど、これまでの取組について講演

<2日目: 地域づくりの現場を視察>

- 地域おこし協力隊をはじめとした地域づくり関係者が活動する現場を視察するとともに、地域の文化や伝統産業を継承させるための取組を体験。
(主な視察先: 機織り、革製品や印鑑等の伝統産業の工場、地域の方の耕作地 等)
- 地域づくり関係者と車座(意見交換)を通じて、地域の魅力を理解。

<3日目: 事例発表と現地視察を踏まえた成果発表>

- 地域の魅力、地域を更に発展させる取組などについて、JET青年同士でグループディスカッション
- 各グループの発表に対して地域づくり関係者からの講評を行い、JET青年の地域活動に対する理解を深化させることで、JET青年による地域活動への取組を促進

JET青年の地域活動への参画について(JET地域国際化塾の参加者へのアンケート)

- ・地域の魅力について、海外在住の家族や国内外の知人(外国人)に対して、SNSを使ってPRする。
- ・所属する地域サークルで、地域活性化への取組や地域のコミュニティと外国人が共に住みやすいまちづくりのためにできることに取り組む。
- ・JET参加者は、外国語授業以外に、地域活性化や文化振興などの様々な地域活動に携わることができることを認識。
- ・今回の知見・経験を勤務する学校の生徒にも共有し、地域での活動や文化について学ぶ校外学習を実施する予定。



成澤 治子氏の講演の様子



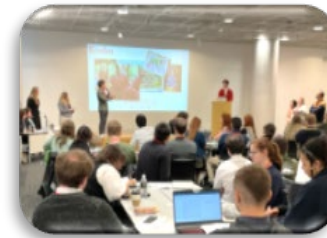
デビッド・エリス氏の講演の様子



地域づくり関係者から話を聞くJET青年



印章技術を学ぶJET青年



成果発表の様子